



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「人類に奉仕するロータリー」 Rotary Serving Humanity

2016-17年度 RI会長／ジョン・ジャーム RI.D2590ガバナー／高良 明 横浜旭RC会長／青木 邦弘

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2後藤ビル2F／〒241-0821

TEL.045-365-3273／FAX.045-365-3132

E-mail:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(株岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



旭区民まつりにて宮城復興米販売



第5回チャリティーコンサート



被災地の子ども達にクリスマスプレゼント

2016年10月12日 第2263回例会 VOL. 48 No. 14

■司 会 副SAA 滝澤 亮

■開会点鐘 会 長 青木 邦弘

■斉 唱 我等の生業

■出席報告

会員数	31名	本日の出席数	19名
本日の出席率	76%	修正出席率	96.3%

■本日の欠席者

安藤(公)、大川、兵藤、鈴木、福村

■他クラブ出席者

青木、安藤(公)、増田、新川、五十嵐、関口
(岩沼RC)

■ゲスト

蔡 金燕様(1994～96年度米山奨学生)

■会長報告

岩沼ロータリークラブ創立50周年の記念式典に関口会員、増田会員、安藤会員、五十嵐会員、新川会員、青木の6名で参加してきました。出席者は一般来賓として石川幹子(講師・中央大学教授)を始めとし岩沼市長など計10名。ロータリー来賓9名、スポンサークラブから8名。姉妹・兄弟・友好クラブ・支援クラブ等40以上のクラブから138名。200名以上参加者の元盛大に開催されました。

「てんでんこ」も全員の封筒に入っていました。感謝状を戴きましたので、式典資料と共に回覧します。

○クラブ関係

1) 次回の例会は久米ガバナー補佐出席のクラブ協議会です。今迄の活動状況を発表できるように準備をお願いします。

2) 熊本へ送る自転車の整備について

昨日から始めました。五十嵐会員、内田会員の活躍と北澤幹事、二宮会員とで整備しました。とても一日では終わりません。

今日9時から内田会員が処理しています。例会終了後ぜひとも手伝いをお願いします。整備については、メーカーキャブ扱いしたいと思います。

■災害対策委員会 増田嘉一郎

1) 熊本地震復興支援の放置自転車を贈る為にお一人3,000円のご寄付をお願いします。瀬谷RC、岩沼RCからも既にご寄付を頂いております。新横浜RCからもご支援いただけるそうです。全員のご寄付をお願いします。

2) 会長報告のとおり、例会終了後に瀬谷eモール駐車場で自転車解体作業を行っております。ご協力をお願い致します。

3) 16日(日)の区民まつりには災害対策委員会は午前7時30分鶴ヶ峰鎧橋、例年の展示場に集合をお願いします。

■親睦委員会 田川 富男

○この指とまれ報告

10月7日夕方、「一攫千金を夢みて」川崎駅集合、川崎競馬場にて秋の夜長を楽しみ大いに親睦を深めました。

当日は会員家族、ご友人を含め24名の参加を頂きました。全員熱が入り競馬を楽しんだ模様です。当然ですが儲けができれば、ニコニコの財源になると思っておりましたが、残念ながら小生を含めて協力が出来ない成績でした。又、後藤会員にはいろいろとお手配して頂き有難うございました。



■社会奉仕委員会 二宮麻理子
○熊本河内みかんの予約販売申し込み

申込の方には11月の旬の時期に着払いで直接お届け致します。なお、金額は税込、送料込の値段となっております。

■ニコニコBOX(会員敬称略)

青木 邦弘／①昨日は自転車作業をされた五十嵐さん、内田さん、二宮さん、北澤さんご苦労様でした。②本日の卓話、米山奨学生蔡さん、よろしくお願ひします。

北澤 正浩／蔡金燕様ようこそいらっしゃいました。卓話宜しくお願ひします。

吉原 則光／秋晴れの中の例会となりました。蔡金燕さん、ご多忙のところ卓話有り難うございます。お話楽しみにしております。よろしくお願ひします。

佐藤 利明／太田勝典フォーラムリーダー、ご苦労様です。蔡金燕様、卓話宜しくお願ひします。

新川 尚／蔡さん、ようこそ！

後藤 英則／①川崎ナイト競馬観戦に参加された皆様、楽しまれた様子ですね。②蔡さん、ようこそいらっしゃいました。お久しぶりです。

本山 雄三／蔡さん、ようこそ。近況報告が楽しみです。

斉藤 善孝／蔡さん、ようこそいらっしゃいました。本日の卓話宜しくお願ひします。

滝澤 亮／①太田さん、米山フォーラムよろしくお願ひします。②後藤さん、川崎競馬有難うございました。

岡田 清七／蔡金燕さん、卓話よろしくお願ひします。

田川 富男／①後藤さん、この指とまれ企画の川崎競馬お手配有難うございました。②蔡さん、今日はよろしくお願ひします。

二宮麻理子／①蔡金燕さん、本日は卓話よろしくお願ひします。②10月16日、旭ふれあい区民まつりに会員皆様のご参加よろしくお願ひします。

太田 勝典／蔡金燕(サイチンエン)さん、今日の卓話ご苦労様です。楽しみにしております。

■卓話

○蔡さんご紹介

米山記念奨学金委員会 太田 勝典

10月は米山月間です。今までは地区米山委員会の卓話でしたが、今年は当クラブ出身の米山奨学生蔡金燕(サイチンエン)さんに卓話をお願いしました。蔡さんは当クラブで20年前に受け入れた台湾出身の元横浜国大生です。ご主人も香港出身の米山奨学生でした。

一昨年当クラブの国際奉仕委員会主催の大池公園で餅つき大会を行いました。旭区在住の外国人親子、ロータリアンとその家族、ボーイスカウト、ガールスカウトが参加し楽しいひと時を過ごしましたが、その時も親子4人で参加してくれました。

本日は、蔡さんのその後のお話を聞きたく、卓話をお願いいたしました。蔡さんの卓話後、米山委員会から皆様へのお願いの話をさせていただきます。それでは蔡さんよろしくお願ひ致します。

○蔡 金燕様

こんにちは、紹介していただきました蔡と申します。大変ご無沙汰しております。今日はお招きをいただき、ありがとうございます。

私は今から25年前の1991年に私費留学生として来日しました。横浜国立大学の学部、大学院で比較文化研究や日本語教育を学びました。ロータリー米山奨学生になったのは大学3、4年生の時です。当時、ほかの学生たちよりも幸運に私は2年間の奨学金をいただけました。おかげさまで、学業に専念することができ、豊かな留学生生活を送ることができました。



マスターコース修了後は横浜市教育委員会に所属し、小中学校の日本語講師として13年間勤務をしました。横浜市内の小中学校に在籍している外国人生徒に日本語を指導していました。2010年に主人と香港で日本留学支援協会を立ち上げるために教育委員会の仕事を辞めて、一家で香港の主人の実家に引っ越しました。香港には2年ほど滞在し、2012年にまた横浜に戻ってきました。

子供は2人います。今二人とも鶴ヶ峰中学に在籍しています。息子は中3、娘は中2です。同じくソフトテニス部に入って毎日部活優先の生活を送っています。香港に住んでいた2年間、日本で生まれ育った我が家の子どもたちは香港の現地校に通っていました。中国語も広東語も英語もできないまま香港の生徒と一緒に学校に通う経験をした我が子たちを見て、私は言葉の指導だけではなく、多文化理解の重要性に気付きました。それまで、私は外国から来日した生徒や学生に日本語の文法を教えることに集中していました。これをきっかけに私は異文化に置かれて生活をしている外国の生徒に多文化理解の助けをする仕事も自分の使命だと改めて感じました。

それで、2012年日本に戻って来てから、私は多文化共生の分野で仕事を始めました。少し説明させてください。

私は今、多文化コーディネーターとして神奈川県立高校で外国人生徒の日本語学習や生活指導を担当しております。神奈川県立高校に在籍している外国につながる生徒たちは留学生と違って日本で働いている親の呼び寄せで来日した生徒がほとんどです。留学生は自分の意志で日本の学校で学ぶことを選択して来日したため、勉強や生活面に向けるモチベーションが高いです。が、呼び寄せの生徒たち

は親の仕事や再婚の都合で来日したため、モチベーションが低くて、日本語や日本文化を学習する機会もない状態で日本の高校に入学し、日本人の先生や生徒たちとも会話ができない学習生活を送らなければなりません。日本での学習や生活スタイルに慣れないせいで、心を閉ざして学力不振や不登校の状況に陥りやすいのです。

しかも、ほとんどの生徒は親が日本で働くため、母国の親戚に預けられて育ってきたので、長く親から離れて生活してきました。そのせいで、自分の親との絆も薄く、家庭内でもうまく親子のコミュニケーションが取れない子が多いです。思春期のこの子たちは学校に心を閉ざし、自分の親につらい気持ちをぶつけるコミュニケーションも取れないので、自信とやる気をなくし、自分の存在さえ否定するように変わっていきます。

神奈川県教育委員会はこの生徒たちのために高校に多文化コーディネーターを派遣しています。多文化コーディネーターはこの生徒たちを指導する日本人教員たちと生徒たちの架け橋になって生徒たちがスムーズに高校生活に適應できるように、サポートをしているのです。

また、私のもう一つの勤務先は私の母校、横浜国立大学です。横浜国立大学の国際教育センターには日本語、日本文化プログラムの交換留学生として台湾からの留学生がきています。私はこの学生たちの生活指導を担当しております。日本語と日本文化を学ぶ大学生らはモチベーションはとても高いが、母国の文化や価値観を通して日本文化、日本人を理解しようとする傾向があります。これによって一人で困ったり、悩んだりすることも生じてきます。留学生たちが日本での勉強を進めるなか、日本人、日本文化を客観的に理解し、日本での勉学生活を快適に送れるように私の今までの経験や知識を生かして手助をしております。

ここで私が言っていた豊かな留学生生活の意味を説明したいと思います。

周知のように日本は先進国で、物価がとても高い国です。母国の仕送りだけでは留学生たちは生活ができません。ですので、ほとんどの学生は学習のほかにアルバイトをしなけ

ればならないのです。(私の場合は留学するとき
に父親からもらってきたお金を2か月で使い
終わってしまいました。)

また、大学に入ったのはいいのですが、周
りは小さい頃から日本語を使いこなしてきた
日本人大学生ばかりです。彼らにとっても難
しいと思われる大学の授業を、留学生たちは
習ったばかりの日本語で日本人先生の授業を
受けて理解したり、レポートを書いたりする
ので、非常にハードルの高い勉強生活が待ち
受けています。このように経済面も勉強面も
厳しい環境のなかで、多くの留学生は大学、
バイト先、アパート先を行き来する機械的な
生活を送るしかありません。当然、日本のど
こかに旅行したり、日本人学生たちあるいは
ほかの留学生たちと交流を深めるような活動
に参加する余裕もありません。

私はロータリー米山奨学生になって、自分
の周りの人や物事に対して心に余裕をもって
理解し、すばらしい日本の友人と交流を深め
ることができて、幸せでした。感謝しており
ます。これから、微力ながらも多文化理解の
ために奉仕していきたいと存じます。

今日は本当にありがとうございました。

○米山委員会 太田会員より

米山寄付のお願い!

ありがとうございました。蔡さんご夫妻は
今お話があったようにアジアと日本の大事な
架け橋として活躍されております。まさにロー
タリー米山記念奨学生事業の目的を執行され
ている蔡さんの心より敬意を表したいと思ひ
ます。

それでは米山記念奨学金委員会より皆様へ
のお願いです。皆さんご存知のように米山記
念奨学事業は日本で最初にロータリーを設
立した米山梅吉の功績を記念して東京 RC が
1953年に創設した米山基金が始まりです。

この事業はわずか5年で日本全国の共同事
業へと発展しました。歴史的にも世界に類を
見ない日本ロータリー独自の多地区合同活動
となっています。

ロータリーの目的は世界平和です。世界平
和を達成するためにロータリーは教育的奉仕
と人道的奉仕を行っています。教育的奉仕は
米山であり、国際交換学生です。人道的奉仕
は災害支援でありポリオプラス寄付です。残

念ながら当クラブは米山の寄付は苦手として
おります。昨年 2590 地区は平均で 29,520 円
ですが、当クラブは 17,960 円でした。59 ク
ラブ中 54 位でした。(これは当クラブ創設
以来の低さ、25 年前に比べ 45%) 平均より
-11,500 円です。

-11,500 円は大変な数字です。平均 29,500
+ 11,500 円 = 41,000 円を集めるクラブの協
力があって平均 29,500 円が成り立っていま
す。例年ガバナー訪問で当クラブは出席率も
良く、歴史もあり大変素晴らしいクラブと褒
めたたえますが、米山に関してはご協力をと
うだけです。

通信簿にたとえると出席率は 5 ですが残念
ながら米山は 1 でしょう。

米山の寄付は普通寄付と特別寄付より成り
立っています。普通寄付 5,000 円はクラブよ
り出費します。特別寄付は 20,000 円以上と
なっていますが、当クラブでは 20,000 円が恒
例となっており 20,000 円払えば義務を果たし
たと思っていました。20,000 円プラス 5,000
円では、全員が払ったとしても、地区平均よ
り -4,500 円となります。

2 番であってはいけないのかとある女性議員
は云っておりましたが、旭ロータリーは少な
くとも地区平均を目指したいものです。今ま
での集金袋には 20,000 円以上と書いてあり
ましたが、今年は地区平均 29,500 円と書か
せていただきます。

10 月末までに 20,000 円以上お願いし、残
りは来年 3 月末までの手形で結構です。メモ
を入れていただければ改めて集金させてい
たできます。

ロータリー米山記念奨学金への寄付は税制
上の優遇措置が受けられます。概略ですが 10
万円の寄付ですと約 4 万円が戻ってきます。
米山の寄付は強制ではありません。ノルマも
ありません。ですが、ロータリー会員一人一
人の暖かいご好意によって成り立っており
ます。ロータリーが目指す世界平和の実現の為
に、会員皆様のご協力を切にお願い申し上げ
ます。

■次週の卓話

10/26 (水) 金子 柱憲様 (プロゴルファー)

「日本におけるゴルフトーナメントの展望」

週報担当 太田 幸治